

北海道ぎょれん広報

# なみまるくん

[うみ・なかま コミュニケーション]

7  
2013  
No.297

北海道  
ぎょれん



特集

第51回北海道漁業協同組合長会議  
第64回ぎょれん通常総会



# 留萌管内おさかな普及協議会 平成25年度第1回料理教室



ほっけの3枚おろしのデモンストレーションでは木村部長の包丁さばきに参加した皆さんの注目が集まりました。

6月7日(金)、旭川市のときわ市民ホールで、留萌管内お魚普及協議会による今年度第1回目の料理教室が開催されました。同協議会は、留萌管内3漁協とぎょれん留萌支店や旭川市内のホクレンショップでの交流を深める料理教室や水揚げされる豊富な魚を消費者に知ってもらうと活動しています。

留萌管内から最も近い消費地旭川市で開催して11年目を迎えた今回の料理教室。北もい漁協羽幌地区女性部の木村部長ら4名の浜のおかあさんが講師を務め、集まった市内在住の主婦19名に留萌管内で獲れる新鮮な甘えびやたこなどを使ったオリジナルレシピを紹介しました。参加者はほっけの3枚おろしや調理手順を教わり、時折談笑を交えての和やかな雰囲気の中で調理し、「豆腐のえび入りとろみ煮」、「ホッケのすり身汁」、「鮭のレモン醤油がけ」、「タコめし」を2時間ほどで仕上げました。

おいしく出来上がった料理は参加者に大変好評で「早速、家族に『浜のおかあさんの味』を食べさせたい。」「留萌の甘えびやたこ、ほっけを買って自分でも作りたい。」などの声がかれ、料理教室を通じて消費者と親睦を深めながら、浜のおかあさんの味で留萌管内の魚を大いにPRすることができました。



お揃いの羽幌地区女性部オリジナルTシャツで登場した講師の皆さん(右から逢坂幸子さん、部長の木村日登美さん、蛭名恵美子さん、佐藤ゆかりさん)

[うみ・なまかま コミュニケーション]

## なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌  
Hokkaido Gyoren Magazine  
July 2013 No.297



01 浜の元気印!  
留萌管内おさかな普及協議会  
平成25年度第1回料理教室

02 特集1  
第51回北海道漁業協同組合長会議

05 特集2  
第64回ぎょれん通常総会

10 「お魚殖やす植樹運動」植樹行事

11 浜の家族物語  
えりも漁協/谷家 優輔 さん ご家族

12 「漁業経営危機突破北海道漁業代表者集会」開催

13 頭すつきり!! ブレイクタイム

14 なみまるインフォメーション

15 目指せ! 消費拡大 宣伝活動NOW  
北海道春鮭鱒普及協議会の宣伝活動

16 大漁祈願!  
浜のほっとニュース

17 みなさんのお便りでつくるページ  
なみまる おたより箱

表紙の写真  
えりも漁協/谷家 優輔さんご家族です。



この時期特有の濃い霧に包まれた笛舞漁港

# 第51回北海道漁業協同組合長会議



議長を務めた白糠漁協の柳谷組合長(左)と、副議長を務めた北るもい漁協の今組合長(右)。



5つの議案が原案通り承認、決議された、第51回全道組合長会議。

6月20日(木)、札幌市の第2水産ビル大会議室で、「第51回北海道漁業協同組合長会議(全道組合長会議)」が開催されました。会議には、5月11日(土)に「全道組合長会議 第1回実行委員会」にて審査された5つの議案が上程されました。

## 原発事故による災害対策や漁業経営基盤強化対策など、5つの議案を決議

会議では、主催団体を代表し、ぎよれん櫻庭会長が挨拶を行い、柳谷組合長(白糠漁協)を議長に、今組合長(北るもい漁協)を副議長に選任し、議事が進行了しました。  
柳谷議長が昨年の決議実行経過の報告を行ったのに続き、今副議長が今回提出された議案の審査内容を説明しました。  
提出された5つの議案は、全て原案通り承認され、これら決議の実行方法については、ぎよれん櫻庭会長に一任し、国や道などの関係機関へ要請活動を行っていくことが承認されました。

## 決議内容について

### 1. 原発事故による災害対策



発言者  
山崎組合長  
(上磯郡漁協)

- (1) 安全強化対策
  - ① 海洋への放射能汚染水の漏出を絶対起こさないよう、厳重な管理体制を含む完全防止対策を実施すること
  - ② 全ての原発(建設中を含む)について、二度と事故を起こさないように、徹底した安全確保措置が検証されるまで停止中の原発を再稼働させないこと
  - ③ 第1次産業への環境影響に配慮した、風力・太陽光・地熱等、安全かつクリーンな自然エネルギー利用の拡大に向けた対策を早急に取り進めること
  - ④ 河川・海洋の生態系に与える影響の調査研究体制の強化と適切な対応を図ること
- (2) 風評被害対策
  - ① 風評被害による諸外国の輸入規制に対する万全の対策を実施すること
  - ② 放射性物質の海域水産物モニタリング検査の体制充実強化による安全・安心体制の確保と国内外への的確な情報提供の徹底を図ること
  - ③ 水産関係者が被る風評被害の補償対策を講じ(6/17)

### 2. 漁業経営基盤強化対策



発言者  
市山組合長  
(ひやま漁協)

- (1) 総合的な漁業経営安定対策の確立
  - ① 資源管理・漁業経営安定対策の拡充
    - ア. 養殖業における参加要件の見直しを図ること
    - イ. 漁業共済制度等の補償内容充実に向けて制度の改善を図ること
    - ウ. 国庫補てん額について課税の特例措置を講じること
  - エ. 恒久的な収入安定対策の制度化を行うこと
  - ② 燃油等漁業コスト対策の確立
    - ア. 漁業経営セーフティネット構築事業の抜本的改善(国庫負担割合の拡大、異常高騰時における国の責任による漁業経営の存続を可能にする対策の創設を図ること)
    - イ. 協業化、省エネ、省力化等コスト削減のための施設導入支援制度の創設
    - ウ. 漁業用燃油税制の免税・還付措置の恒久化に向けた立法措置を行うこと
    - エ. 漁業用資材等の価格安定制度を創設すること
- (2) 担い手確保対策
  - ① 漁業後継者を確保するため、安心して次世代に引き継ぐ漁船、機械設備、生産施設等、新たな設備投資の支援制度の創設
  - ② 漁業後継者に対する漁業生産手段等の財産譲渡に係る課税の特例措置を講ずること
- (3) 制度資金の拡充
  - 漁業近代化資金の限度額引き上げや償還年数延長など抜本的な制度改正を図ること

## 平成25年度漁協系統運動功労者表彰

全道組合長会議のなかで行われた「漁協系統運動功労者表彰」では、次の2名の方が表彰され、北海道漁業信用基金協会川崎理事長(厚岸漁協組合長)から表彰状及び記念品が贈呈されました。

- 長尾 学さん(写真右)  
北海道漁業共済組合 専務理事
- 牧 聰さん(写真左)  
北海道JF共済推進本部 副本部長



代表して謝辞を述べる牧副本部長(左)。

特集2  
SPECIAL

第64回ぎよれん通常総会



議長を務めたひだか漁協 梶川組合長。

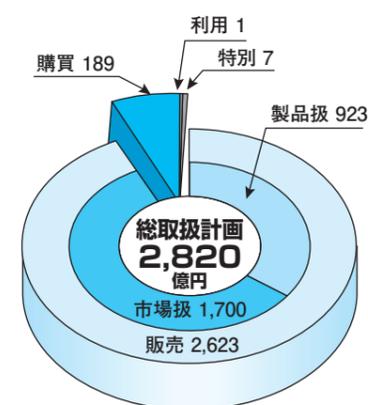


8つの議案が全て原案通り承認されました。

ぎよれん総会は、櫻庭会長の挨拶（次頁に掲載）ののち、ひだか漁協の梶川組合長が議長に選任され、議事が進行しました。「平成24年度の決算」、「平成25年度の事業計画」、「新役員を選任」など、8つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。総会の後には、今回の総会をもって退任された櫻庭会長と、小倉専務、杉本常務、新たに就任した川崎会長より挨拶がありました（8、9頁に掲載）。

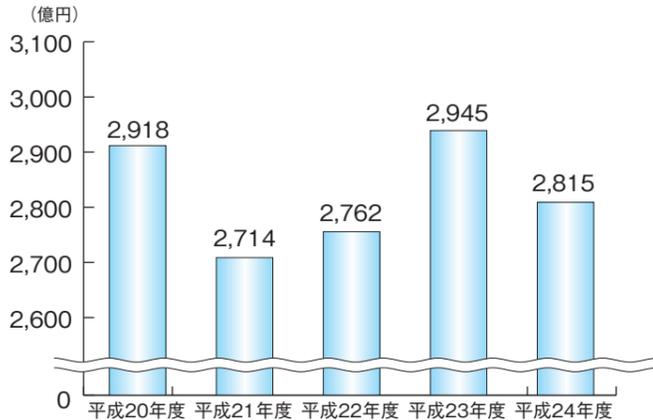
平成24年度取扱高は2815億円、平成25年度取扱計画は2820億円

平成25年度事業別取扱計画



[単位：億円]

総取扱高の推移



3. 水産物流通・加工・消費対策



発言者  
阿部組合長  
(紋別漁協)

- (1) 国内流通対策
  - ① 生産コストに見合う魚価実現に向けた国産水産物の価格安定制度の拡充と末端流通を見据えた総合的な需給調整対策への支援等の拡充強化を図ること
  - ② 道産水産物の安定供給に向けた産地流通加工施設の整備と消費拡大の拡充を図ること
- (2) 海外流通対策
  - ① 海外市場への供給機能強化に向けた輸出支援策の拡充
    - ア. 海外市場開拓に向けた実効性のある支援対策の拡充強化を図ること
    - イ. 水揚げ及び市場施設等の整備拡充を図ること
    - ウ. 水産加工施設等EUのHACCP認定の促進を図ること
  - ② EU向け輸出における海域環境調査への経費助成の拡充を図ること
  - ③ 食育対策
    - 若年齢層を主体とした魚食機会（学校給食等）の拡充に向けた食育支援制度を創設すること

4. 北海道周辺海域の豊かな漁業環境づくりの強化対策



発言者  
平野組合長  
(えりも漁協)

- (1) 水産資源の持続的利用、資源増大対策
  - ① 水産資源増大のために社会的インフラ事業等として北海道の特性に応じた栽培漁業の推進、孵化放流事業のさらなる技術開発、試験研究の推進により安定的な増殖事業の展開を図ること
  - ② 資源に見合った操業体制の確立のための地域別協議の促進を図ること
  - ③ 禁漁・休漁・減船など漁獲努力量削減による自主的な資源回復措置への抜本的（基金造成等）支援事業を創設すること
  - ④ TAC制度の抜本的な見直し（資源評価の精度向上、弾力的運用）を図ること
  - ⑤ イカ内臓物・ウニ殻等を一定の条件で海中還元を可能とする資源回復に向けたリサイクル体制の手法を制度的に確立すること
  - ⑥ 年々悪質化する組織的密漁防止対策のため、漁業者がおこなう活動に対する支援措置を図ること
- (2) 有害生物による沿岸漁業被害防止対策
  - ① トドによる食害や漁具等への被害の補償及び休漁に対する漁業被害補償制度を創設すること
  - ② 有害生物（トド・アザラシ・オットセイ等の海獣、クラゲ、ザラボヤ）の被害防止対策に

対する支援の拡充強化を図ること

- (3) 河川、漁場環境保全対策
  - 漁場環境の改善整備のための森林・河川・海洋環境保全及び漂流、漂着物処理対策（北海道グリーンニューデール基金等）を拡充強化すること
- (4) 水産業、漁村の有する多面的機能の維持、増進対策
  - 漁村集落が自主的におこなう多面的機能発揮及び漁村地域振興のため、漁村集落直接支払交付金制度としてより一層の拡充を図ること
- (5) 防災対策
  - 激甚災害法の改正による災害復旧支援対策の拡充及び津波発生時の情報伝達システムの構築と早期運用を図ること

5. 水産物貿易自由化対策



発言者  
大坂組合長  
(根室漁協)

- (1) 漁業・漁村の崩壊を招く例外なき貿易自由化を強いるTPP交渉から脱退すること
- (2) 無秩序な水産物輸入の自由化阻止と現行関税率等を堅持すること
- (3) FTA（自由貿易協定）・EPA（経済連携協定）交渉における主要水産物の適用除外を図ること
- (4) ロシアWTO加盟による本道漁業への影響を回避すること



## 櫻庭会長 挨拶(要旨)

### 平成24年度の事業実績

**秋鮭、いか、さんまなどの水揚げが減少。厳しい流通環境のなか、各種対策を実施**

平成24年度の本道漁業生産は、いか、さんまなどの水揚げが大きく減少したこともあり、全道水揚数量・金額ともに前年を下回る厳しい結果となりました。水産物の流通面でも、年度後半になって政権交代による景気回復に期待がかかりましたが、デフレ不況の中で、総じて消費者の魚離れによる消費低迷と魚価安が続きました。道内水産物の輸出も昨年後半から円安を背景に追い風に転じたものの、魚種や輸出相手国によって明暗が分かれました。環境は一変しました。こうした中、本会の販

### 漁協系統組織を挙げた活動が一定の成果を挙げる

指導事業のうち、「漁政対策」については、全道組合長会議等と連携し、国・道などに対し、各種要請活動を行い、本道漁業の課題解決に総力を挙げて取り組み、一定の成果をあげることができました。

「指導教育事業」については、漁協経営の健全性確保対策、各種研修の充実に加え、50周年を迎えた漁青連活動の記念事業を支援するとともに、浜と一体となった各種魚食普及・食育活動に取り組まれました。

「環境対策」については、トド・アザラシ等、海獣被害対策に加え、有害生物漁業被害防止対策のほか、河川・森林環境保全対策を継続推進しました。このほか、「放射性物質風評被害対策」については、会員からの要請を受け、すけそう・このなごの風評被害に係る東京電力への損害賠償請求を行い、関係行政・全漁連の支援も得て、賠償金の支払いにつなげることができました。

### 組織の財務基盤の強化に引き続き取り組む

「経営面」においては、厳しい経営環境下において引き続き、財務基盤の強化に取り組みました。「関連会社」については、本会と一体となった事業推進を図って参りましたが、直営工場二社が原料事情悪化の影響を回避できず、赤字決算を余儀なくされました。

以上の結果、平成24年度の本会経営は、総取扱高は二千八百十五億円となり、収支についても、

売事業の推進にあたっては、関係団体との連携を図りながら、国内外の需給動向を勘案した各種流通対策事業を実施し、円滑な流通の確保に取り組まれました。

基幹魚種のうち「秋鮭」については、過去20年間で最低となる十万吨割れの不振となりました。減産を背景に浜値が上昇し、製品価格は高値で推移したことから、親製品の中国向け輸出が激減したほか、チリ産銀鮭の大量搬入により鮭鱒の消流環境が悪化、国内消費は苦戦を強いられました。このような中、本会としては、関係団体との連携により一定量の中国輸出対策を講ずるとともに、製品の内販促進対策を継続して実施しました。

また「ほたて」についても関係団体と連携し、国内外での流通対策に取り組みました。全道水揚げは、2年振りに四十万トンを上回る水揚げとなり、「玉冷製品」では小型化による消流への影響が懸念されましたが、年末以降の円安暴落により米国主体に輸出が増加し、新物に向けた国内在庫は予想を大きく下回る結果となりました。「ポイールほたて」は中国向け両貝冷凍ならびに韓国向け活ほたての輸出増により、浜高暴調で推移したため、製品が高値形成され、今後の消流動向から目が離せない状況となっています。ほたて製品は総じて、産地高・消費地安が顕著となっており、消流安定化に向けては、需給動向を充分見極めた中での国内販売対策が大きな課題として残りました。「昆布」については、1万8千トン台の生産量となり、平成23年度の大減産からは回復したものの、依然として減産傾向が続いており、全般的に消費も伸び悩んでおります。このような状況の

税引前当期利益段階において、計画・前年を下回る、三億八千万円となり、法人税等を控除した、当期末処分剰余金は、三億六千万円となりました。なお、剰余金の処分につきましては、地区組合長会議で了解を頂いた内容に沿った形でご提案致しておりますので、よろしくご承認のほどお願い申し上げます。

### 平成25年度の事業計画

#### 漁協系統として総合的な流通対策事業の強化を図る

次に、平成25年度の事業推進の考え方についてご説明申し上げます。

本年度は本会が平成23年度に策定した、「グローバル戦略強化等を柱とする、中期的事業推進方向」の最終年度にあたります。この間、本道の漁業経営は総じて厳しい環境に置かれてまいりました。

景気回復への期待が高まるなか、販売事業の推進にあたっては、国内流通の安定確保を基本に置きつつ、海外輸出対策を含めた、漁協系統としての総合的な流通対策事業の強化に努めてまいります。

#### 燃油特別対策の実現をはじめ漁政対策を推進

漁政対策としては、TPP貿易交渉等から本道漁業への影響を回避する取り組みが正念場を迎えるとともに、燃油高騰緊急特別対策の実現、加えて原発漁業被害対策や各種漁業経営安定化施策の拡充など、課題が山積しており、この解決に向け

と、「北海道昆布漁業振興協会」を設立し、2万トンの生産確保を目標に、新年度から生産振興と消費拡大に向け具体的な取り組みを開始することとなりました。

産地市場の買受機能低下が続く中、「一般魚種」については、全般的に魚価安傾向が続きました。本会と致しましては、直営工場・漁協自営工場等との連携による、製品加工対策を継続することにも、かねてから実施している漁協系統鮮魚・加工原料供給ネットワーク事業の拡充を図り、ぶり、かれいの全道対策と地域の実情に応じた魚種対策に取り組み、魚価維持・付加価値向上対策に一定の成果をあげることができました。

また、関係会員からの要請を受け、「北海道春鮭鱒普及協議会」を立ち上げ、春鮭鱒の消費拡大に向けた取り組みを開始しました。

以上、平成24年度の本会販売事業は、厳しい生産・加工流通の影響を受け、取扱高は製品扱・市場扱ともに計画・前年を下回る結果となりました。

#### 系統燃油価格の適正化、系統ブランド資材の普及に取り組む

「購買事業」については、原油価格上昇が続く中、全漁連とも連携し、系統燃油価格の適正化に取り組まれました。また、「一般漁業資材」については、購販推進活動と連携し、継続して良質廉価な「系統ブランド資材」の取扱拡大を図りました。購買事業の取扱高は、燃油価格の上昇もあり、計画を上回る実績となりました。

て、組織をあげた取り組みを強化してまいります。

#### 浜との連帯を強固にしなが、各種事業対策に果敢に挑戦

ご案内のとおり内外情勢は目まぐるしく変化を続けております。

本道漁業の更なる振興と発展を図るため昨年の記念すべき第50回全道組合長会議で特別決議を行った「強い北海道漁業の確立」に向け、漁協系統組織の総力の結集と行動が何よりも重要となっております。

本会と致しましても、浜との連帯をより強固なものとしなが、各種事業対策に果敢に挑戦してまいれる所存でございますので、会員各位の理解とご支援を切にお願い申し上げます。この基本的な考え方を申し述べさせて頂きました。本日の提出議案について充分なるご審議とご理解を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。



今月の家族物語



【谷家さんご一家】 谷家 優輔さん(34歳)、由貴子さん(36歳)、大翔くん(12歳)、唯斗くん(10歳)、さくらちゃん(6歳)

※優輔さんの母芳子さんと一緒に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、えりも漁協の谷家さんご一家です。

先読みして作業する「段取り」が大切

父と第三十五潤宝丸に乗り組み、3月から10月のつづ籠漁、漁期には並行してさんま流し網漁、かれいや助宗の刺し網漁、毛がに籠漁に従事する優輔さん。7月から9月には家族で昆布漁もしています。

小学校低学年から昆布干しやかれい網の網さやめなど陸仕事を手伝い、漁師に憧れたという優輔さん。中学校から部活のサッカーに打ち込み、えりも高校卒業後は3年間、札幌で就職しました。20歳を過ぎた頃、谷家家の長男として改めて漁師になろうと決意し帰郷しました。「漁師になって3日間は船酔いがひどかった。」という優輔さん。船酔いがなくなると今度は先輩たちの仕事の速さに付いていくのが大変だったそうです。「沖で作業しながら覚えないうけないので、他人より早く覚えようと必死だった。」と当時を振り返ります。作業の2つ先3つ先を見て仕事をする「段取り」を身に付け、仲間との呼吸も合い仕事がしやすくなったと教えてくれました。

未来の子ども達に良いものをたくさん残したい

釧路市出身の由貴さんは、嫁いで初めて浜の仕

事を経験。「家族で出来る仕事が良いです。昆布干しも苦になりません。」と笑顔で話します。優輔さんは「家で支えてくれているから仕事に集中できる。」と由貴さんにいつも感謝しています。長男大翔くんは陸上少年団で短距離と砲丸投げに励む小学6年生。お手伝いをよくしてくれる家族思いのお兄さんです。谷家家のムードメーカーの次男唯斗くんは小学4年生。1年生から少年野球に打ち込んでいます。長女さくらちゃんは保育園の年長組。兄妹一のしっかり者で昆布干しのお手伝いも根気よく頑張っています。

えりも漁協近笛地区青年部長で、えりも漁青連の会長、日高地区漁青連副会長も務める優輔さん。近笛地区では、地元のお祭りでの出店や浜の清掃を兼ねた鉄くすの廃品回収に加え、昨年から青年部主催で地元のアベヤキ川での鯉のぼりの川渡しや盆祭りを開催。「自分たちが子どもの頃見たものを今の子ども達にも見せたい。」との思いに共感してくれる15人の仲間とともに復活させました。「子どもは大人を見て育つ。大人のキラキラした姿を子ども達に見せながら、未来の子ども達に良いものをたくさん残していきたいね。」と故郷への愛を語ってくれた優輔さん。その熱い思いが私の心に残りました。



5月30日(木)に当別町にある道民の森内の「水源の森」で、各地区漁協組合長会の代表、北海道女性部連絡協議会(以下道女性連)、コープさっぽろ、国や道の関係機関、森林組合などから約85名が参加し、ミズナラ、ニレ、イタヤの苗木を各250本、計750本を植えました。



ぎょれん櫻庭会長

朝からのあいにくの雨にもかかわらず、参加した皆さんは雨がっぱを着こみ、軍手や長靴姿で準備万端。植樹が始まる頃には、皆さんの思いが天に届き、雨があがって絶好の植樹日和となりました。主催者を代表してぎょれんの櫻庭会長は「北海道の漁民は環境、自然を大切にしながら魚を増やしていくという意識が非常に高い。今日も愛情をこめて植えていきましょう。」と挨拶。道女性連の平賀会長は、昭和63年から始まった全道での取り組みによる植樹本数が累計97万本に到達していることに触れ「今年度は100万本を超えると思います。漁協女性部は、これからも前浜の環境を守るため、植樹活動に取り組んでいきます。」と改めてこの運動への意欲を示しました。



地区組合長会の代表と櫻庭会長、平賀会長が除幕式を行いました



道女性連平賀会長

また今回は植樹に先立ち、北海道漁業協同組合長会議が昨年行った、創立50周年の記念植樹に際して制作された記念看板の除幕式が行われました。地区組合長会を代表して北るもい漁協の今組合長は「全道の漁協が一丸となって、これからもこの道民の森での植樹を継続していきたい。」と述べ、参加者全員で看板の前で記念写真を撮影しました。



北るもい漁協今組合長

道民の森での植樹活動は、道女性連が全道で推進している「お魚殖やす植樹運動」の一環として平成10年から全道の浜のお母さんが交代で行って来ました。今年は道との協定に基づき、1.5ヘクタールの新たな敷地を確保し、今後5年間で毎年750本ずつ3750本の苗木を植えていく計画です。また、「お魚殖やす植樹運動」は今年度も全道各地で行われ、計約3万5000本が植樹される予定です。



用意された750本の苗木



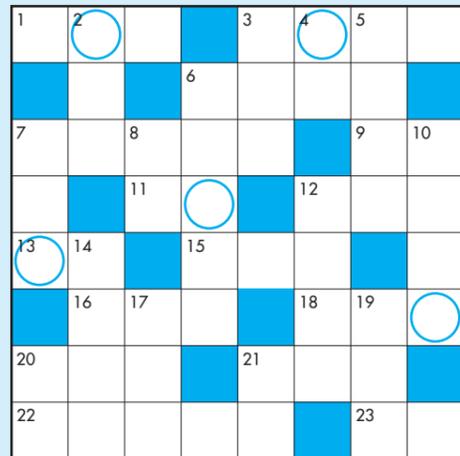
皆さん、時折笑顔を見せながら植樹に汗を流しました



石狩北部森林組合松下課長による植樹指導

# クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。このニュースが聞こえるようになると、いよいよ「夏本番」という感じがしますね。短い北海道の夏ですが、たっぷり楽しみましょう!



## タテのカギ

- ② 上下に分かれた女性用の水着
- ③ 飛行機に乗るほど貯まります
- ④ 日本は○○半球
- ⑤ 温泉や風呂から立ちのぼる湯気
- ⑥ 津軽が有名な日本の弦楽器
- ⑦ 鮭の卵たっぷり○○○丼
- ⑧ ○○彩・○○典・常○○
- ⑩ 日本では煮えたつた湯、中国ではあつあつのスープを言います
- ⑫ 学問の神様で有名な福岡県の神社「○○○○天満宮」
- ⑭ 止まってくれるタクシーはこの二文字
- ⑰ 犬の運動場「○○○ラン」
- ⑲ 宝塚時代の「天海祐希」や「真矢みき」は、○○○役
- ⑳ 船の進行方向を制御する装置
- ㉑ 太平洋はオーシャン、日本海は?

## ヨコのカギ

- ① 白雪姫を助けたのは七人の○○○
- ③ 「巨人の星」で、星飛雄馬が投げるのは「消える○○○○」
- ⑥ 干したものは、出汁をとったり、水で戻してから煮物や佃煮にできるキノコ
- ⑦ 英語表記の姓と名前の頭文字
- ⑨ 強い相手に借りるカラダの一部
- ⑪ 卵黄=
- ⑫ よく打つバッテリーはコレが高い
- ⑬ ○○語・○○農・娛○○
- ⑮ 日本の茶道や日本舞踊、武道での作法とされる座り方
- ⑯ 讃岐・稲庭・水沢といえば○○○が有名
- ⑰ 温泉街に漂う○○○のにおい
- ⑲ 乾燥機⇄○○○機
- ㉑ 看護師やホテルマンのような時間や日にちをすらすら変則的な勤務体制
- ㉒ 浴槽内に勢いのある泡を出すお風呂
- ㉓ 「※」の読み方は、○○印

○印に当たる言葉をうまく並べてください。

解答  となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

**6月号の解答と当選者**  
クールピズ

サ	ピ	ウ	チ	ワ	ナ
ル	ー	ツ	ヤ	ク	シ
マ	イ	コ	ン	コ	リ
キ	マ	ツ	コ	ハ	ダ
ヤ	タ	ビ	マ	イ	ク
ウ	リ	ニ	ン	グ	ル
ホ	ン	ニ	リ	レ	ー
ン	コ	ル	ク	イ	ズ

(浦河町)高倉 聡美さん  
(釧路市)小野 聖子さん  
(苫小牧市)中村 翔太さん  
(根室市)成田美由紀さん  
(岡山県)津内 洋史さん

## 間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる箇所があります。さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

# 「漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会」開催



参加者全員で行ったシュプレヒコール(左)。集会後、札幌駅と大通駅を結ぶ地下歩行空間にて、市民へのアピール活動を実施しました(右)。

漁業を取り巻く環境は、長引く景気の低迷による「消費の減退」や「福島原発事故に起因する風評被害」、そして、追い打ちをかけるような政府の経済政策による「燃油価格の高騰」と、厳しさを増しています。この窮状を広く道民・国民に訴えとともに、円安による燃油価格高騰分の緊急対策をはじめとする漁業経営支援策の実現を国に強く求めるため、5月28日(火)に北海道集会在、翌29日(水)は、東京にて全国集会が行われました。

※このページでは、北海道集会の様をお伝えします。全国集会の様は、14ページのみまるインフォメーションをご覧ください。

## 漁業代表者による意見表明



檜山いか釣漁業振興協議会理事 松崎 敏文さん



道東小型さんま漁業協議会会長 内村 武夫さん



全鮭連副会長 大坂 光裕さん



決議文を読み上げた道漁青連副会長 高島 恵太さん

5月28日(火)札幌市の第二水産ビルにおいて、ぎょれんを含む在札系統団体と道水産会、地区漁協組合長会会長会議の主催により、「漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会」が開催され、全道漁協の代表者のほか、道の関係者や、国会・道議員も多数参加しました。主催者を代表して挨拶したぎょれん櫻庭会長は、「燃油価格は急激な上昇を続け、漁業者自らのコスト削減の努力ではどうにもならない事態となっている。このままでは、漁業の生産体制が弱体化し、経営がますます困難となる漁業者も出てくる。漁業経営存続のため、燃油価格高騰分の緊急対策をはじめとする漁業経営支援策が不可欠であることを、政府に対して強力に訴えていく必要があり、本日の代表者集会を開催した。」と開催趣旨を述べました。

漁業代表者の意見表明では、いか釣漁業、さんま漁業、鮭鱒漁業の各代表者が登壇し、不断の経営努力にも関わらず、燃油高騰等により漁業経営が圧迫されている実態を詳細に述べ、国の支援を強く訴えました。集会の最後には、北海道漁協青年部連絡協議会副会長の高島恵太さんによって読み上げられた「決議案」が満場一致の拍手により採択され、参加者全員によるシュプレヒコールが行われました。

## 決議内容(抜粋)

我々は、この窮状を広く道民に訴え、水産物供給の担い手としてその使命を果たすとともに、北海道漁業の存続を可能としていくため、円安による燃油価格高騰分の緊急対策をはじめとする漁業経営支援策の実現を国に強く求めることをここに決議する。

1. 急激な円安による燃油価格高騰分の緊急対策を実施すること
2. 燃油価格異常高騰時の国の責任による漁業経営の存続を可能にする対策を図ること
3. 「漁業経営セーフティーネット構築事業」の抜本的改善を図ること
4. 協業化、省エネ、省力化の取り組みによる生産コスト削減のための施設導入支援制度を創設すること
5. 漁業用燃油税制の特例措置を恒久化すること

ぎょれんでは、各魚種別協議会と連携し、継続的に宣伝活動を行っています。

今回は、旬時期に合わせて、5月から6月に集中的に実施された北海道春鮭鱒普及協議会の宣伝活動をお伝えします。

ANAの機内誌5月号に春鮭鱒の広告を掲載

この広告、ココが特長!

「今が旬、北海道の『天然』時鮭&紅鮭&鱒」というキャッチフレーズとともに、香ばしく焼けた時鮭、紅鮭、鱒の写真が、旬のおいしさを伝えます。



機内誌は、ANAの飛行機全てに搭載されるため、乗客皆さんの目に留まりやすい広告です。

ANA機内誌「翼の王国」5月号表紙

雑誌「HO(ほ)7月号」にて「旬を食べよう! 北海道の時鮭」を特集



この記事、ココが特長!

一昨年より共同で宣伝活動を行っている札幌市中央卸売市場とのタイアップ広告を掲載し、道内消費を促しました。

札幌二条市場の鮮魚店店主に聞いた「春の鮭がおいしいわけ」「時鮭の見きわめ、ココがポイント!」や、札幌市中央卸売市場の場外市場飲食店に聞いた「家庭で時鮭をおいしく食べるワザ」など、役立つ情報がいっぱいです!

北海道新聞に全面広告を掲載 札幌まつりに「時鮭」を食べる習わしを伝える

この広告、ココが特長!

北海道新聞全道版に、札幌市中央卸売市場とタイアップした全面広告を掲載。同じ内容のチラシも作り、札幌市内鮮魚店での配布も行っています。

時鮭の旬が、札幌の初夏の風物詩「北海道神宮例祭(札幌まつり)」(毎年6月14日~16日開催)と重なるため、昔は祭りの日の夕食に、「時鮭の焼きびたし」を出す家庭が多かったことを、カネシメ高橋水産㈱の本田敬一さんが伝えてくれます。ぜひ、当時の習わしを復活させたいものです。

時鮭の焼きびたしの作り方(4人分)

色よく焼いた時鮭4切に、ひと煮立ちさせた漬け汁(醤油と水が各50cc、みりんと酒が各大さじ3)をかけ、時々返しながら、半日~一晩置けば完成。



北海道新聞 6月8日(土)朝刊に掲載。

我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会が開催 全国の漁業者が、国に対し、緊急支援を求めました

01

札幌で行われた「漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会」(本誌12ページにて特集)の翌5月29日(水)、東京の日比谷公園野外音楽堂にて、全漁連等の主催により、「我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会」が行われました。全国の漁業者2,500名が参加し、本道からも各漁協の代表者、ぎょれんをはじめとする系統団体等が参加しました。

集会では、長引く景気の低迷による消費の減退や魚価の低落、円安に伴う漁業コストの増大など危機的な状況を訴えるとともに、「国は、将来にわたって漁業者が安心して操業していくための抜本的対策を講ずる必要があるが、何より、今を乗り越えていかなければ将来も無い。国に対して、円安による燃油価格高騰分の緊急支援を講じることを求める」とする決議を、全会一致で採択しました。大会終了後は、日比谷公園から国会議事堂周辺をデモ行進したほか、本道や各県の代表者が、決議内容をもとに、国会議員に対する要請活動を行い、国の支援を強く訴えました。



全漁連副会長として、江藤農林水産副大臣(左側、中央)へ決議内容を伝え、支援を求める櫻庭会長(中央)。

道ぎょれん会 お取引先懇談会が開催 全国のお取引先と懇親を深めました

02

5月30日(木)、札幌市のロイトン札幌において、ぎょれんが主催する「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催され、全国の取引先187社、278名が参加し、懇親を深めました。

主催者挨拶を行った櫻庭会長は、総じて減産傾向にあった昨年度の生産量に触れ、「全国の皆様に安定して道産水産物をお届けするため、全道の漁業者とともに生産回復に取り組み、浜と一体となった消費拡大事業、流通対策事業に一層努力する。」と決意を述べました。続く「報告・本道漁業の概況」では、各魚種の昨年度の生産・流通動向や、生産回復に向けた取り組みなどについて、西副会長が詳しく説明しました。

特別講演は、「大動乱の時代 ~日本人の覚悟~」と題し、ジャーナリストの寫信彦さんが講演。寫さんは、今の世の中を「世界中で大きな変化が続く『大動乱』の時代」と表現し、過去の歴史や、現在の政治・経済状況など多くの話題を提供しました。日本については、「成長の原動力であった『輸出で儲けて世界から物資を買うビジネスモデル』が崩れ、人口減や大震災など、まさに『国難』とも言える状況」と語る一方、「しかし、今の『国難』に気づきはじめてきた人々が、このままではいけないと本気で日本を変えようとし始めている」と考えを述べました。「元気がないと言われる日本だが、GDPはまだ世界第3位。これからは、社会も個人も、真の『友人』と呼べるような関係を作ることが重要。ここにいる皆様がそのような関係を築き、一層の活躍をされることを期待している。」と参加者へのエールを送り、講演を締めくくりました。



年1回、札幌で開催される「道ぎょれん会」。昨年を上回る数のお取引先にご参加いただきました。



特別講演を行っていただいたジャーナリストの寫信彦さん。

### 編集部からのお知らせ

### 皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています!

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん7月号への感想・ご意見など
- ②13ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉7月20日までにお送りください。

(郵便) 〒060-0003  
 札幌市中央区北3条西7丁目1番地  
 北海道ぎよれん 総務企画部 広報担当  
 (FAX) 011(242)3543  
 (電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

### 13ページの間違いさの答え



### 編集後記

取材時以外は、パソコンの前で長時間、原稿と格闘(?)することが多いためか、今まで感じたことのないような腰の痛みが発生。「困ったなあ」と思っていた矢先、初夏の陽気に誘われ、趣味の自転車であちこち出掛けるようになると、嘘のように痛みがなくなりました! 恥ずかしながら、単なる運動不足だったようで…。自転車の効用はもう一つ。流れる風景のなか、無心になればなるほど、ぼっとアイデアが浮かびます。あとは、それがきちんと記事に反映されるように、来月もがんばります! (工藤)

広報担当になって3年。手帳に取材の予定を書き込む際はペンの色を「赤」に決めています。大事な取材予定を見落とさないようにと、取材がうまくいくようにという自分なりのゲン担ぎです。今月もページが随分と真っ赤になりました。来月も手帳と赤ペンを持って、どんどん取材に伺います。よろしくお願ひします。(櫻田)

## 身に着けよう オレンジベスト 気を付けよう なれた船と海

(社) 北海道漁船海難防止・水難救済センター

みなさんのお便りでつくるページです。

### なみまるおたより箱



6月に入りいか漁が解禁になりました。テレビに生き生きとした姿を見せ、本当に活気があふれていました。私達の食卓も賑やかにしてくれるのを楽しみにしています。漁に携わる皆様、どうぞ事故の無いように頑張ってください。

(七飯町 清水 悦子さん 76歳)

ぎ、5月6日を初漁としたころなご漁も豊漁で終わったようです。出漁を休むこともなく風に乗られたことを喜んでおりますが、「合成の誤謬」で漁師も気力を無くしたと聞きます。統制の時代を思い浮かべておりますが、農漁業に強い力をほしいもの?」

(島牧村 泉谷 泰三さん 85歳)

※「合成の誤謬」…個人としては合理的な行動であるけれども、多くの人がその行動をとると「社会全体にとって不都合な結果が生じてしまう」といふこと。

6月に入り根室も少し暖かくなってきました。

(根室市 高橋 ナツ子さん 55歳)

5月からうに漁が始まりました。6月に入り最盛期となりました。8月まで頑張ってください。

(小樽市 宮古 知行さん)

やっと暖かくなってきました。これから養殖昆布の本番が始まります。みんなケガ無く、体につけて頑張ろう。

(函館市 佐藤 恵美子さん)

マリンちゃんも可愛いけど、なみまるくんもめんこいです。北海道漁業の発展のためにも漁協の皆さん力を合わせて頑張ってください。

(浦河町 高倉 聡美さん 38歳)

昨年とは打って変わって今年の昆布は不漁でまいますねえ。

(根室市 高屋敷 実香さん 21歳)

6月に入り、暖かい日が続ぎ、だんだん夏に近づいています。今年も良い天

### 編集部の今月の1枚



頂上に雪が残る神居尻山  
平成25年5月30日  
当別町道民の森にて撮影

気でありませうに願ひます。

(湧別町 白井 ミセ子さん 77歳)

〈編集部から〉  
 植樹を終えてふと見あげた時に、目の前に広がる緑のじゅうたんのように残る白い雪とのコントラストがとても美しく撮影した1枚です。

## 大漁祈願!

# news 浜のほつとニュース

### 小樽

各地でうにの水揚げが本格化してきました。今年は数量が少ないものの、単価は例年より高く推移しています。また、後志西部方面から前浜のするめいか漁も始まり、サイズは小型ながら管内で1日1,000ケース以上揚がっています。6月中旬から始まったなまこも豊漁で、単価も昨年より3割以上高く、浜も期待が高まります。小樽もいよいよ本格的な夏を迎えます。

### 室蘭

6月中旬、管内春定置に時鮭の日産2,000~1,000尾とまとまった水揚げがありました。中心サイズは3kg台でk@1,300~1,100処でした。昨年は記録的な水揚げでしたが、今年は一週間近く遅れ、待ちに待った水揚げに浜は活気づきました。毛がに籠漁は6月20日の噴火湾地区を皮切りに、7月は太平洋地区と順次解禁となります。安全操業と大漁を祈念します。

### 根室

ロシア200海里内鮭鱒漁に出漁していた根室船籍の小型船16隻のうち、6隻が10日に初水揚げを行いました。今年に入漁料と割当数量が減少しましたが、操業水域の拡大等の条件緩和や操業期間が延長されました。ロシアとの漁業交渉の難航で昨年より約1カ月遅れの出漁となったものの、漁模様は良く、今後の順調な水揚げに期待しています。

### 留萌

管内春漁の主力魚種・真がれいの水揚げが好調です。5月の連休前は泥などの影響で水揚げが低迷し、豊漁だった昨年の約40%の漁でしたが、連休明けから水揚げが順調に増え、5月は昨年対比約90%となり、6月に入ってもまとまった水揚げが続いています。今年も、価格が昨年より安く推移しているため、これからの挽回が期待されます。

### 梶山

6月1日より「いか釣り漁」が解禁しました。水揚げ開始当初は毎日100~200ケース処と少なめの漁でしたが、現在では3,000~4,000ケース処と徐々に漁が上向いてきました。魚体も25~30尾型のサイズが増えてきており、今後の漁に期待したいところです。また、瀬棚・江差地区でうにの入札も始まりました。浜がますます活気づくことを期待しています。

### 日高

やっと前浜の海水温も上がり、春定置の時鮭も漁がまとまる日が続き始めました。これから前半の遅れを挽回できるよう願ひます。また、7月からの昆布漁に向け、各地で磯掃除・干場整備等が行われています。今年是不漁年に加え、例年より着生数が少なく、減産は避けられない見込みですが、生産者の努力が報われ、最低限の減産で済むようにと願ひます。

### 北見

7月に入り、オホーツクも短い夏を迎えようとしています。浜でははたて漁が最盛期に入り、北海しまえび漁がスタート、たこ漁も本格化するなど夏漁が賑わいを見せています。8月にはほっき漁が解禁となり、順次水揚げを開始する予定です。これからの事故なく安全操業と大漁を心より祈願しています。

### 函館

6月1日より解禁した「いか釣り漁」は現在、凧の時は1,000ケース処と生簀で1.5トン処の水揚げがあります。まだ魚体は40尾型~バラ中心ですが、25尾・30尾型も増えてきました。また、南かやべの定置網でも1日100kg程度ですが、いかの漁が見えてきました。今年も昨年振るわなかった分、浜が活気づくためにも、いかの大漁を期待してやみません。

### 釧路

先月末解禁のロシア200海里内鮭鱒漁は、6月10日から19トン船が入港し水揚げが始まりました。近年の傾向と同様に魚体は小さめです。例年より操業期間が短くなりましたが、安全操業を願ひます。また、6月から棹前昆布漁が始まりました。霧や晴れても波があるなど出漁機会も限られますが、計画通り出漁できることを願ひます。

### 稚内

オホーツク海地区では、毛がに籠漁は順調に許容量を消化し、不審船による漁具被害等もなく無事に終漁しました。日本海地区では夏のなまこ漁が解禁し、利尻・礼文地区では、ばぶんうに・むらさきうに漁も本格化して、価格は昨年より若干の高値で推移しています。天候に恵まれ、凧の日も続いておりますが、安全操業と豊漁を願ひます。

焼きほぐした秋鮭を巻くサラダ感覚海苔巻き

## 鮭のロール巻き

浜のおかあさん  
レシピ

今回は秋鮭を使った「鮭のロール巻き」をご紹介します。焼いてほぐした秋鮭を、海苔とレタスで巻いたサラダ感覚のロール巻きです。お子さんのいるご家庭では、お好みでからしマヨネーズをマヨネーズに変えてもOK! お子さんと一緒に簡単でおいしい海苔巻きづくりを楽しんでみませんか。

## 材料(4人分)

- |          |                |
|----------|----------------|
| ・米…2合    | ・こしょう…小さじ1     |
| ・鮭切り身…2枚 | ・からしマヨネーズ…大さじ2 |
| ・レタス…2枚  | ・酢…大さじ5        |
| ・海苔…4枚   | ④・砂糖…大さじ3      |
| ・昆布…10cm | ・塩…大さじ1/2      |
| ・酒…小さじ2  |                |
| ・塩…大さじ1  |                |

## 作り方

- ① 米を研いで30分おき、昆布を入れて炊く。炊き上がったたら、Aを混ぜ入れて酢飯を作り、冷ます。
- ② 鮭に、酒と塩・こしょうをふりかけ、フライパンで焼く。焼けたら骨と皮を外し身をほぐす。
- ③ ほぐした鮭にからしマヨネーズを和える。
- ④ 巻き簾(すだれ)の上に海苔と酢飯を広げ、中央にレタスと鮭をのせて巻く。
- ⑤ 一本の海苔巻きを8等分に切って出来上がり。



いぶり中央漁協  
大友 勇子さん